

幟立てなど作業についての打合せ

日時：R6年9月29日16時～

場所：大坪集会所

出席：**成清、中田（猛）、末國富、末国栄、
中田（真）、吉崎、坊田、木本、松本
計9名（左回り）**

議題1 柵立てなどの作業分担案

資料：幟立て、注連縄張り、帳場作り、楽屋作り、電気工事の作業分担案

幟の種類と設置位置、神社境内図、注連縄の種類と本数

各常会に配布できるよう作業分担案を完成させる。

**神社境内図の幟立て石柱に記号を振った（ア～タ）ので、「幟の種類と設置位置」表の支柱記号欄に記号を入れるよう依頼
成清総代**

議題2 開催案内文の最終修正

資料：開催案内文案

外部に配布できるように

**市広報誌と同時に開催案内文と役割表も配布する。
それに間に合うよう（10月8日まで）作成する。
開催案内文 木本 役割表 成清**

議題3 チラシの文案、デザインなどの最終修正

資料：チラシ案

配布は、10月9日に市広報誌と併せて岡城、志和地、瀬谷、中の村の各戸

また、10月18日に長岡新聞店に依頼して同エリアに配布

他にA3版に拡大コピーしたものをJA西支店、Aコープ川地店、郵便局、志和地駅、
川地コミュニティに貼る。

チラシ案の一部を修正して実施する。

議題4 成清総代の経過報告

これを一番先に検討した 総代の資料

議題5 花による秋季例大祭の運営や保存会の支援について（考え方、決めない）

- ① 巫女の舞や胴打ちに出た子供には、親に謝礼をした方が良いのではないか。
(謝礼をする対象の明確化、子供が茶菓子を配って喜ぶか?)
- ② 例大祭の運営は、負担金と花でまかなうが、保存会の支援を考えると本当屋の取り
分が減る。ただし、花の余剰を寄付するのも変な話で、仕組みの整理が必要ではな
いか。
- ③ 毎年使う資材を総代会の下に確保し、本当屋の準備作業負担と出費を減らすことが
必要ではないか。

**総代の資料を検討している中で、たまたま花についての意見が出た。
総代の資料**

末国栄氏より、記念写真撮影のための写真屋調査の結果が報告された。意見交換の後、今回
は写真を無料配布（@900円？）することにし、写真撮影後に希望者に氏名を書いてもら
い、後日配布することにした。中の村だけ？他も入れる？

最後に、中田常会長から6日の草刈（自治会草刈終了後、中田カドモト宅と西側のネギ畑）
の案内があった。

幟立て、注連縄張り、帳場作り、楽屋作り、電気工事の作業分担案

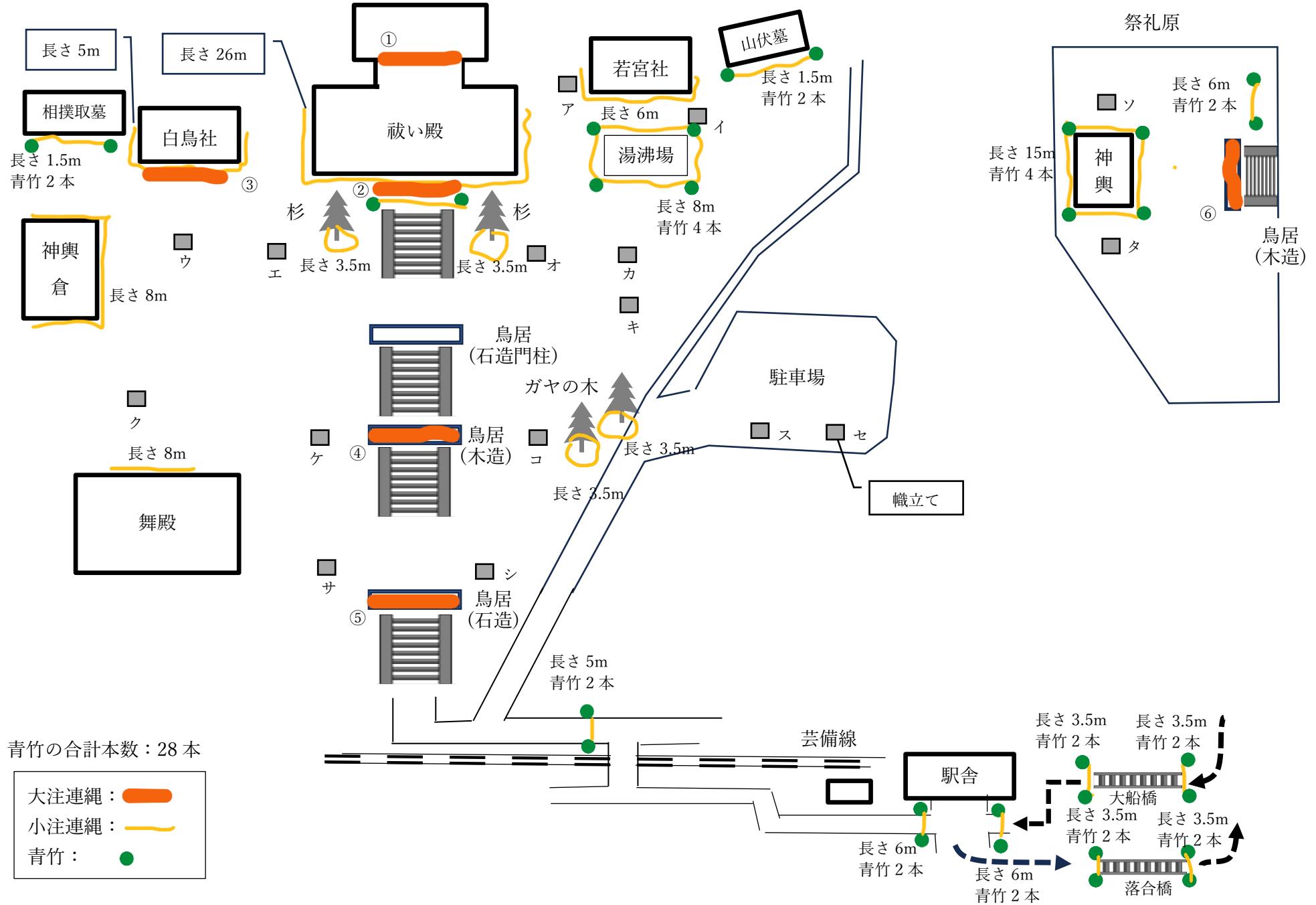
日時：10月13日（日）8時～

場所：神社境内、祭礼原、落合橋、大船橋ほか

この計画案で実施する方向で、事前に常会長らに説明し了承の取付けが必要
傷害保険の対象者（出役しそうな者の全員） 成清総代と末國富で対応する。

作業名	作業内容	担当常会	備考
幟立て	支柱は16か所、幟は全部で22枚 「神社境内図」を参照 境内の祓い殿周辺の7か所と、駐車場～ガヤの木～舞殿の7か所を2班に分かれて立てる。	各常会より2名、計10名	どれをどこに立てるか？ 5人1組で立てられる？ 資料「幟の種類と設置位置」参照
注連縄張り	大注連縄6本。取り付けてから中央に1つと間隔を取って2つ、計3つの房とその間に紙垂を付ける必要がある。小注連縄は、25か所で紙垂を付ける必要がある。 「神社境内図」と「注連縄の種類と本数」を参照		高所作業は屈強なお願いし、大部分は地上での作業なので女性もできる。
大注連縄（A班） 同（B班） 小注連縄（D班） 同（E班） 祭礼原班	祓い殿（2本）と若宮社（1本） 境内の鳥居（2本） 祓い殿、小注連縄を祭礼原の鳥居、小注連縄を神輿台と出口お旅上（5か所）の小注連縄と青竹の取付け 祭礼原の幟2本、大注連縄1本、小注連縄2本を取り付ける。	木舟 大坪 駅組 駅組 市場	多田富雄、新丸一夫両氏が参加
帳場作り	足場用単管パイプを組んで作る。 大きさが不明だが畳1畳の大きさか？	中所	4人程度で作れるのではないか？ 材料はどこにある？
楽屋作り	舞殿をブルーシートで囲う。 幕を調達してそれぞれの必要な位置に置いてみる。	大坪	幕の取付けは17日以降？
電気工事	電源の配置先：帳場 音響機器（マイク、アンプ、スピーカー）の取付けと調整	大坪	坊田氏の指示が必要 19日午前になるのではないか。

志賀神社境内図 (R6年9月作成)



幟の種類と立てる場所

この欄を完成させる。

幟の種類 (寄贈者名)	枚数	所属	支柱記号	備考
川地遺族会	2	全体	ア、イ	若宮社に立てる。
長岡邦雄 長岡ハルエ	2	中の村	ソ、タ	祭礼原に立てる
新丸哲二 新丸宣子	2	中の村		神社入り口近くに立てる
中田アヤノ	1	中の村		神社入り口近くに立てる
中田庄一	1	中の村		神社入り口近くに立てる
山田節二	2	川地農協組合長		うち1枚は破れ
宍戸 強 宍戸幸恵	2			
国鉄 OB 有志	2	全体		使わない (立てない)
両志和地遺族会	1			
吉崎若一	1	瀬谷		
渡邊順市 渡邊サダ	2	瀬谷		
中村宝一	1	中瀬谷		
重安勝一 桶川兼太郎	1	瀬谷		
中河十五日	1	瀬谷		
国政 泉	1	瀬谷		
計	2 2 枚			

注連縄の種類と本数

[大注連縄]

設置場所		長さ	青竹切 (4本)	房 (計14個)	御幣
祓い殿	内部	3.5m(毛切り)	無	無	○
祓い殿	入口	6.0m(毛切り)	無	総3個	○
白鳥神社	入口	4.0m(毛切り)	4.0m	総2個	○
鳥居	門柱(石)	5.0m	5.0m	総3個	○
鳥居	木作	5.0m	5.0m	総3個	○
鳥居	祭礼原	5.5m	5.5m	総3個	○

〔小注連繩〕

場所	長さ	本数	青竹	場所	長さ	本数	青竹
祓い殿	26m	1		踏切前	5m	1	
神輿倉	8m	1		駅舎前	6m	1	
若宮社	6m	1		大船橋	3.5m	2	4
湯沸し場	8m	1	4	落合橋	3.5m	2	4
白鳥社	5m	1		金の御幣(集会所)	6m	2	2
舞殿前	8m	1		金の御幣(中)	6m		
杉の木	3.5m	2		神輿置き場	15m	1	4
杉の木間	5m	1		祭礼原出口	6m	1	2
ガヤの木	3.5m	2		御幣櫃	4m	1	
山伏墓	1.5m	1	2	児玉氏宅横	6m	1	2
相撲取り墓	1.5m	1	2	計		25	26

志賀神社秋季例大祭

六神儀

三次市無形民俗文化財14件の中の1つ、1964年6月指定)



<三次市ホームページ>
この神楽はどこから伝わったものかわかつていません。舞の特徴も広島県内の他の神楽とは面も採り物も、樂のリズムも異なっています。

舞殿の前にだけ注連縄を張り、演目「悪魔払い」のとき、その注連縄を鬼が切ります。[中略] 広島県内ではめずらしく、宗教や政治の影響を受けずに今日まで残ってきた神楽です。

写真提供：田端富男氏（岡城）



前夜祭（10月19日） 楽打ち、巫女の舞、六神儀

大祭（10月20日） 楽打ち、巫女の舞、お旅、神輿、獅子舞
(詳しくは裏面を参照ください)

奉納行事には皆様の親族や親類縁者が参加します。なにとぞお誘いあわせの上、多数ご参拝いただきますよう謹んでご案内申し上げます。

志賀神社秋季例大祭 奉納行事日程

10月19日(土) 前夜祭

13時	樂打ち、獅子舞、花揃い	大坪集会所
17時半	神社祭典(巫女の舞ほか)	神社祓い殿
18時半	六神儀奉納	神社舞殿

10月20日(日) 大祭

12時	樂打ち、獅子舞	大坪集会所
13時	神社祭典(巫女の舞ほか)	神社祓い殿
13時半	樂打ち、獅子舞、神輿	参道広場 神社境内
14時	お旅出発	お旅街道
14時半	祭礼原祭典(樂打ち、獅子舞)	祭礼原
16時	神社祭典(樂打ち)	神社祓い殿 神社境内
16時半	記念写真	神社参道
17時前	解散	

志賀神社芸能伝統保存会について

令和6年5月発足

会長	野崎 浩昭		
六神儀頭領	大倉 弘成	獅子舞頭領	河野 直樹
神輿担頭領	品川 公治	事務局	前川 渉

巫女の舞を含めて、秋季例大祭での出演者は、調整中です。

「花」の宛先は、総花と「保存会」とし、総花は本当屋より、他は芸能伝統保存会よりお礼状を送ります。

中の村当屋 本当屋大坪常会
行事総頭領 末國富雄
地区総代 成清耕三